



笑顔いっぱい かがやく入谷っ子

繋がりが豊かさへ

3年生の理科で、ホウセンカを育てる学習に向け、種が一人3個ずつ配られていました。小さな種をよく観察した後、Chrome Bookを活用して、種の写真を撮っていました。一生懸命に活動している際、種を入れた器が机から落ちてしまいました。必死で小さな種を見つけようとする子。1個の種はすぐに見つかったのですが、その様子を見ていた友達が、一緒に探してくれて2個目が見つかりました。でも3個目がなかなか見つからなくて困っていると、違う友達が見つけてくれました。2人の友達に、「ありがとう」と自分から伝えていました。困っている友達がいると、なんとか助けようとする姿が、本当に素晴らしいと思いましたし、温かな空気が流れる瞬間がとても素敵な時間です。こういった一瞬一瞬が子供たちを繋げ、温かな関係を築き、心を育てていくのだらうと思います。

今、学校全体で、26日(火)に行う1年生を迎える会の準備をしています。その中の一つに、折り紙でお花を折り、その中にメッセージを書く取組をしていたクラスの様子も素晴らしかったので、お伝えしたいと思います。一人2つのお花を折るということで、お花を作っていました。たくさん折っている子がいたので理由を尋ねると「これは、ちょっと切れてしまった」とか、「折った時の折り目が合っていないから」とか子供たちなりに、一番上手に作ったお花を1年生に渡そうという思いにあふれていました。メッセージを書く際には、

「この色が一番きれいだから、このお花にする」と嬉しそうに話していました。さらに素晴らしいのは、その話を隣で聴いていた友達でした。その子は、「もし、自分ももらったら嬉しいものね。」と話していました。相手を思う心の動きは、伝染していったら、さらに豊かな心の動きを生み出していくのだなあ、と感動してしまいました。



掃除中の出来事では、落とし物箱に、名前のついたハンカチが入っているのを見つけた2年生が、「3年生のじゃないかな」という友達の情報をもとに、3年生の教室へ届けに行きました。しかし、「3年生にはいないよ。1年生の子だよ」という話を聴いて、1年生の教室に行こうとしたのですが1年生はすでに帰ったあと…。そこで、1年生の先生に届けるという行動にうつしました。学校の仲間のために、自分の力を惜しみなく出す美しい姿に心が温かくなりました。

新年度がスタートし、新たな仲間と過ごし始めて、約2週間半。日々の生活の中にたくさんの輝きが見られます。よりよく生きていこうという思いをもつ子供たち一人一人の素晴らしさを見出し、価値づけ、成長を支えていきたいと思っています。